

お兄さん学生かい？  
こんな田舎に一人で

親戚か知り合いでも  
おるんかね？

それとも……



ある人との  
約束を果たしに  
やってきました

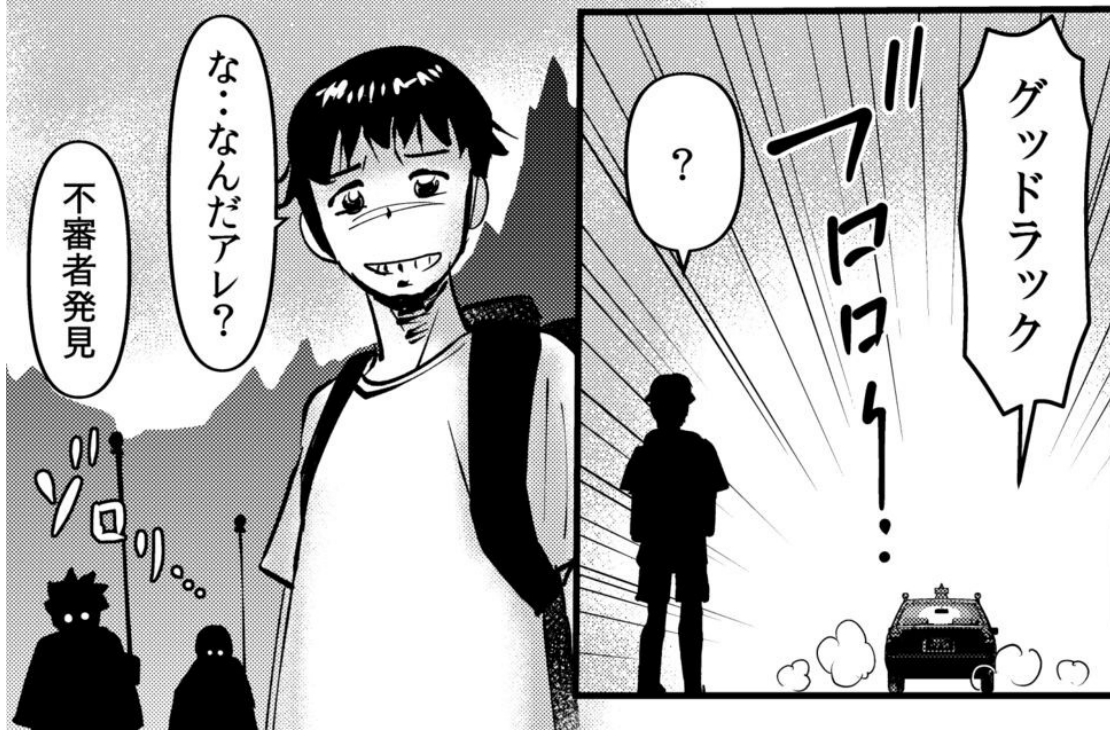
あれから十三年の時流れ  
ボクは十八歳になった

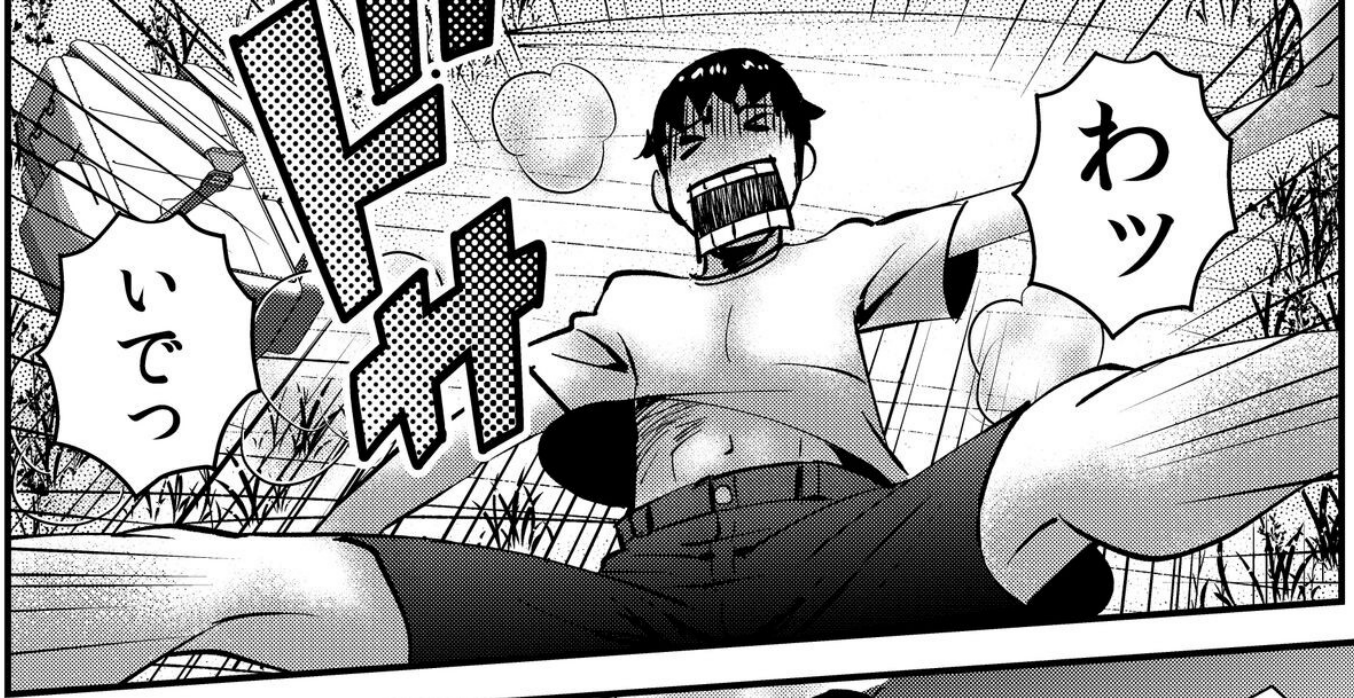
アミちゃんの引越しの日  
あの日交わした約束

お正月になったら  
会いに行くよ  
お小遣いを溜めて  
きつと行くから

結局お互いなんの  
音沙汰も無く  
過ぎ去った十三年間

約束を果たせぬまま  
ボクの時間はずっと  
止まったままだった

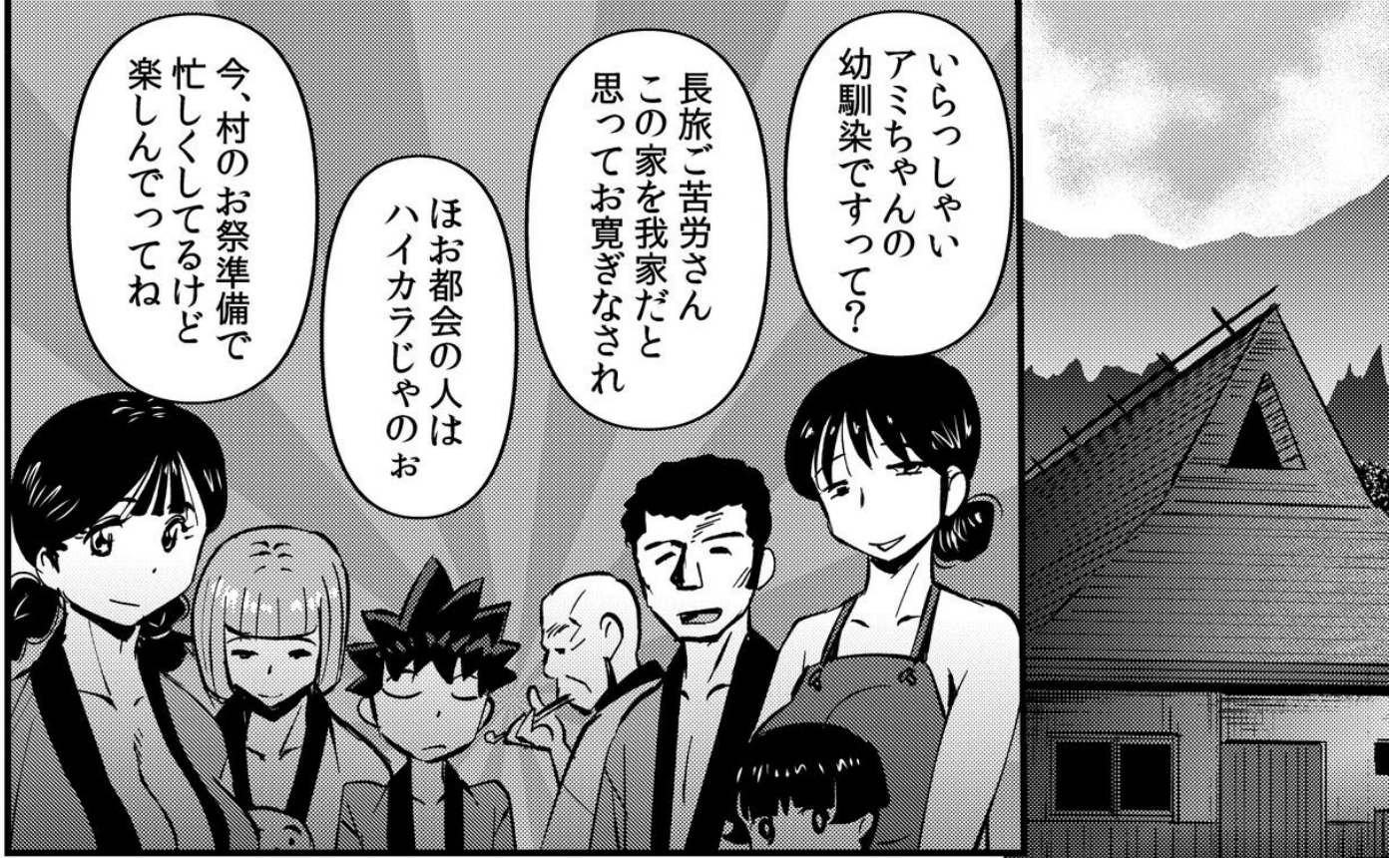












いらつしやい  
アミちゃんの  
幼馴染ですって？

長旅ご苦労さん  
この家を我家だと  
思ってお寛ぎなされ

ほお都会の人は  
ハイカラじゃのお

今、村のお祭準備で  
忙しくしてるけど  
楽しんでってね

しばらく  
ご厄介になります

お部屋用意  
してるから先に  
荷物置いといで

親戚一同？大家族だな

そう言えば  
アミちゃんの  
両親って

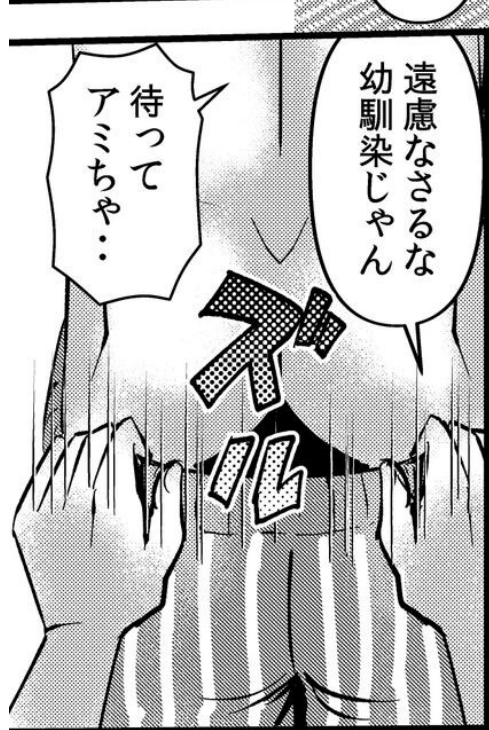
あの中の  
誰だっけ？

いつも彼女と遊ぶ時  
向こうからウチに  
来てたから面識が無い

あとで聞いて  
ちゃんと挨拶  
しよう

いかんせん十三年ぶりの  
再会：何から話そう？







でもこれからは  
気をつけよう

素肌に法被といい  
禪といい：  
羞恥心のレベルが  
都会と違うのかな



アミちゃん全然  
平気っぽかったな  
こつちが焦ったわ

タクシーの  
おじさんが  
この村は  
常識が違うって  
言ってたけど



ああ、恥ずかし  
かったく…



ま、とにかく  
風呂で命の  
洗濯だ



あらオサムさん  
いらつしやうい

うわわッ！  
ごめんなさい  
入ってたとは  
知らず

いいのよ  
タミちゃん  
済ませたら  
変わるから  
待つてね

全く驚く  
様子が無い!!

ゴニ  
ゴニ



マリ〜

ハイハイすぐ終るから  
待っててイッペイ

マリ  
次オレな



おあ〜マリのフエラ  
気持ちい〜

んじゃ  
ヨロシク〜

みんな下の名前で  
呼び合う家族なんだ

さっ  
いらつしやい  
イッペイ



あうマリ  
口に出すぞ

これが田舎の  
常識…なの？



おおくさすが  
驚きの吸引力

タミもよく  
見ておけよ

ニギギ

ニギギ

ニギギ

ニギギ

ニギギ

ニギギ



ボク一人っ子  
だからそういうの  
羨ましいです

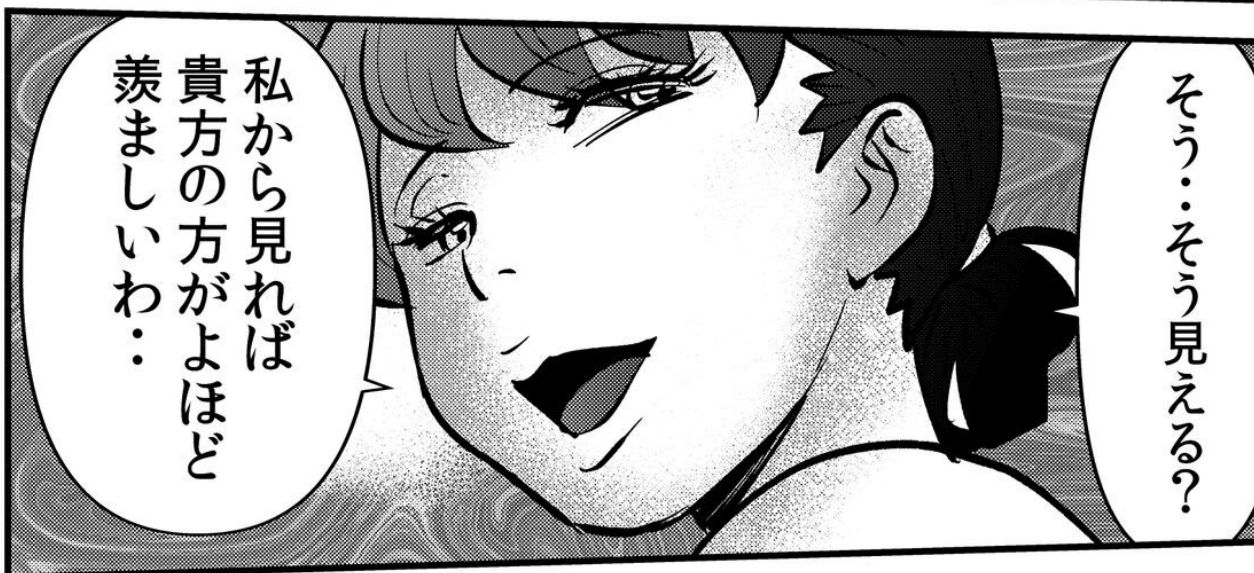
大家族だから  
一度に複数で  
入らないと  
大変ですね



あいよ

タミちゃん  
ちゃんと拭いて  
あげてねイッペイ

はー身も心も  
チンコもスツキリ



私から見れば  
貴方の方がよほど  
羨ましいわ：

そう…そう見える？



それより：  
この村の  
楽しみ方を

教えてあげる



あ、ウフフ  
ごめんね  
今は忘れて

は、はあ…

!!

チンポ



湯船に隠れて  
チンポ勃起させて  
可愛いわね

でも安心して  
そういう男たちを  
諫めるのが私の役目

あ・ちよ  
マリさ・

はうッ  
役目？



あらあら一緒に  
浸かっちゃって  
もうそんなに  
仲良しなんだ

あ・



アミちゃんには  
内緒・だね♥



いいよ好きな時に  
内緒でビュッビュ  
しな・ウフフ



他のみんなも  
オサム君の事  
歓迎してくれて  
嬉しいな

アミちゃん：  
気づいてない？



ねえオサム君  
私、いっぱい  
話したい事  
あるんだ

あ：うん  
ボクも：  
たくさん  
：あ：る

バレません  
よーに：：

はー♡

はー♡



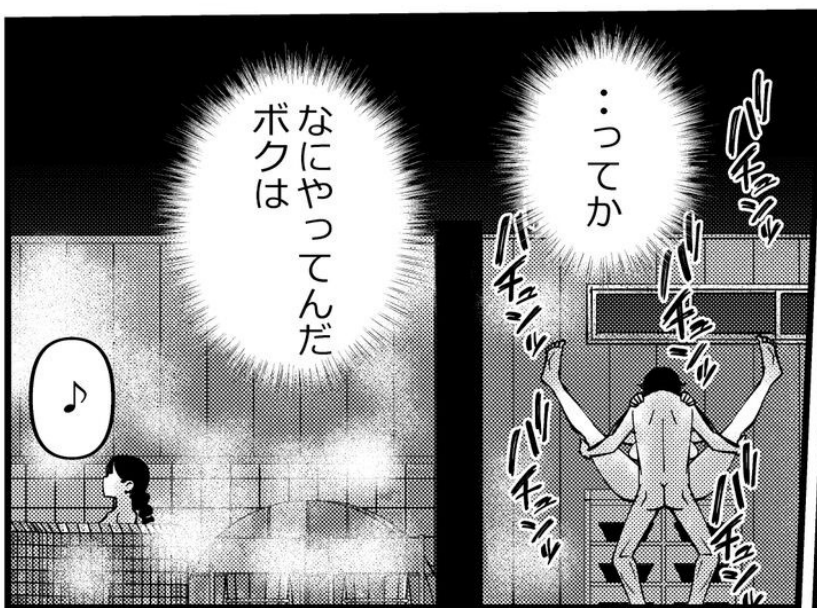
何をどこから  
話せばいいやら  
十三年だもんね

あとで  
ゆっくり：  
はな：そ

うん  
大事な話も  
あるし：：

先に：あがる：よ

急げ急げッ



なにやってんだ  
ボクは

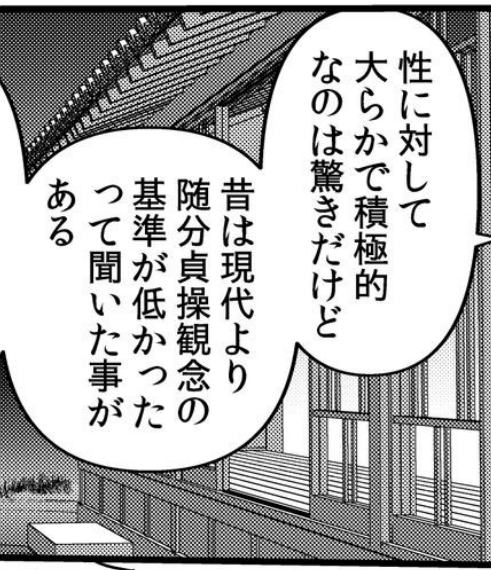
：ってか

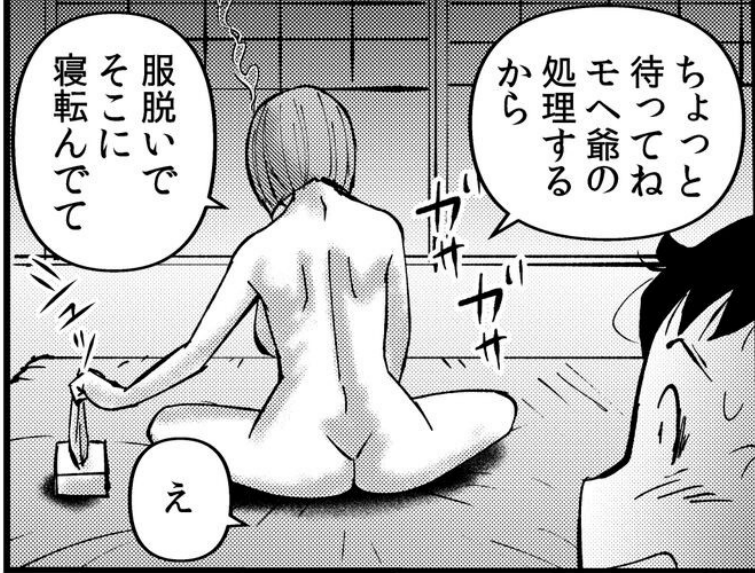
♪



駅弁フアツク  
重くないオサム君  
ウフフ

あんまり  
絞めないで  
マリさん：





服脱いで  
そこに  
寝転んで

ちよつと  
待ってね  
モへ爺の  
処理する  
から

え



ではワシはひとつ風呂  
浴びてこようかのう



上?下?  
バック正上位  
チンダリ返し  
なんでハメたい?

もつとアクロ  
バティックな  
体位がいい?

外で青姦も  
興奮するよ

いや僕は  
そんなつもりで



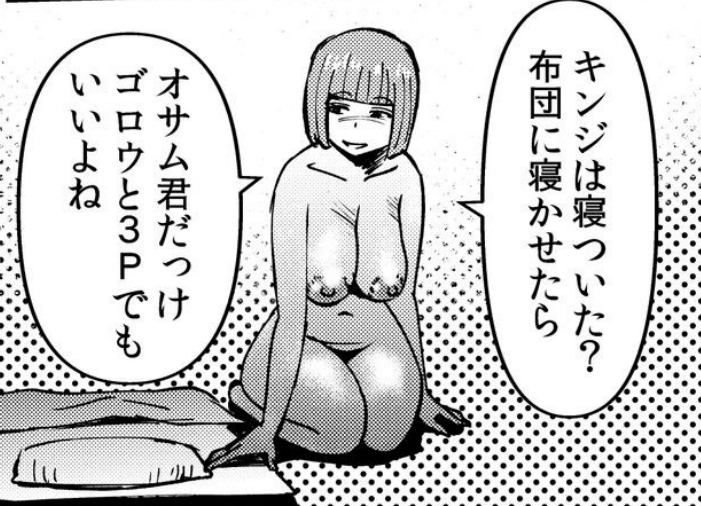
夫婦?

あ、あの  
折角の夫婦  
水入らずの処  
お邪魔だし:



遠慮するな若いの  
へーれへーれ

ふわっ



キンジは寝ついた?  
布団に寝かせたら

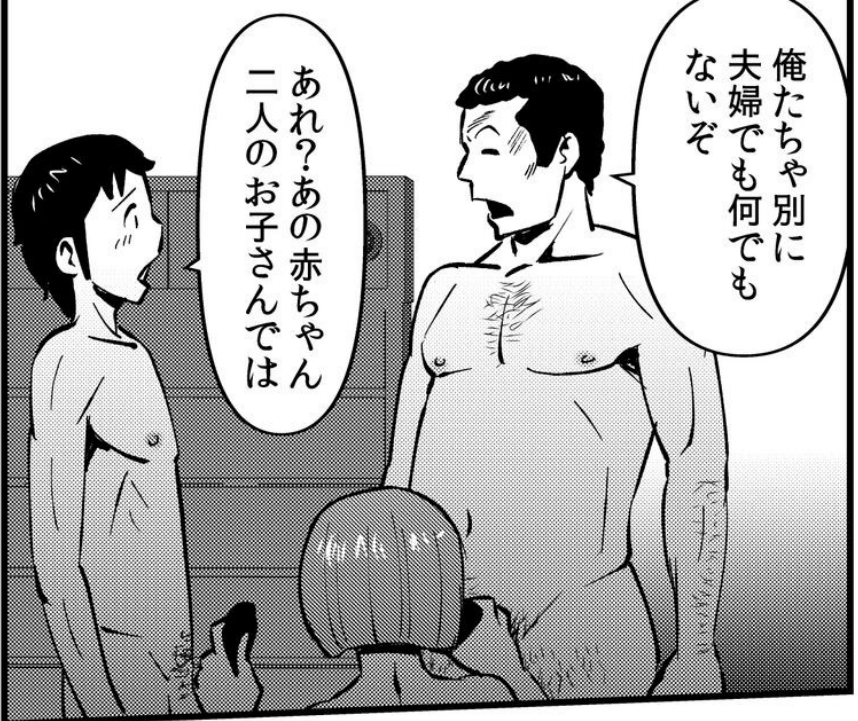
オサム君だっけ  
ゴロウと3Pでも  
いいよね



父親は村の男衆の誰か

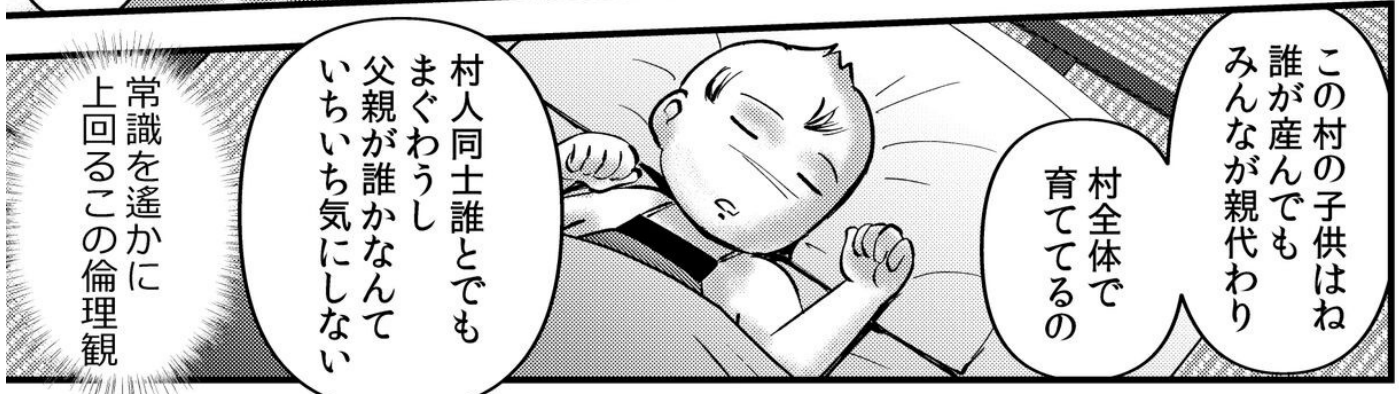
村の誰か?

キンジは私が産んだ子だけど



俺たちや別に夫婦でも何でも無いぞ

あれ?あの赤ちゃん二人のお子さんでは



この村の子供はね誰が産んでもみんなが親代わり

村全体で育ててるの

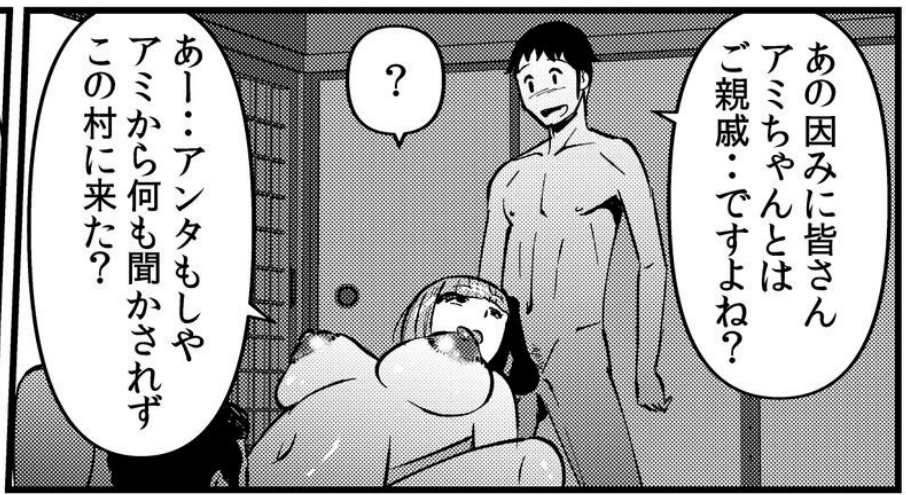
村人同士誰とでもまぐわうし父親が誰かなんていちいち気にしない

常識を遙かに上回るこの倫理観



その昔、人口減少で村の存続が危ぶまれた時代の村長が村おこしで始めた村人倍増計画でな

村おこし...



あの因みに皆さんアミちゃんとはご親戚:ですよね?

?

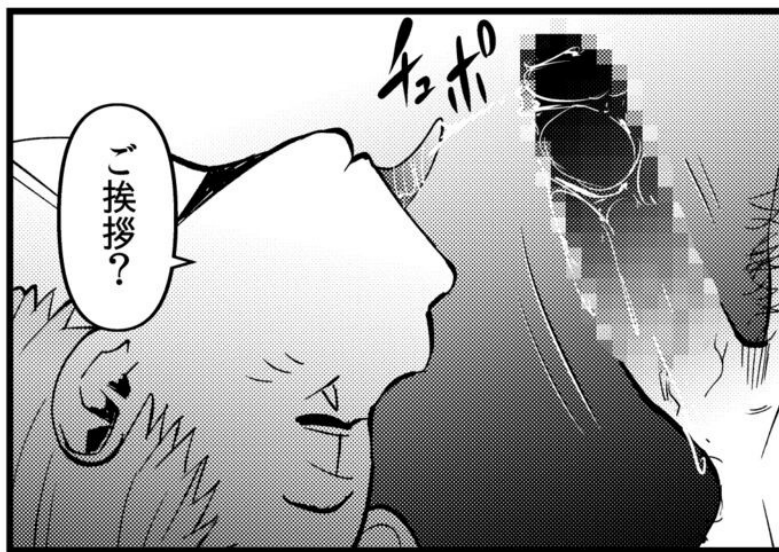
あー:アンタもしやアミから何も聞かされずこの村に来た?



この家にはほぼ血縁者はおらん

他の家も同様村が決めたアカの他人が同居するコミュニティ

アカの他人ッ





なんだよ  
なんてことだよ

えっ

エッ

エえ



ア  
ミ  
ミ  
ちゃん!!



ひゃっ何?  
あ、オサム君!!  
ビックリした

アアアアミミ  
イクッ

どどど



丁度いいわね…  
二人だけで  
お話しよっか  
オサム君

…



そっか…  
聞いちゃったか



オサム君…こっちへ



イツペイ  
今日はもう  
おしまい

これから大事な話が  
あるからまた明日

へ〜インじゃ  
マリの布団に  
潜ってこよ〜



そう…私は親に  
捨てられてこの村の  
住人になったの

あれから色々あつて  
いや、ありすぎて



まずは会いに  
来てくれて  
ありがとう

手紙書くのに  
十三年もかかって  
ごめんね

そんなこと…  
ボクの方こそ

覚えていてくれて  
凄く嬉しかった

私の家は父親の  
事業の失敗もあって  
貧しい家庭だった

街の人たちから  
後ろ指を  
指されるほどの  
貧困家庭

それもあり両親は人目を  
避ける生活をしていたわ

それでアミちゃんの  
両親を見た事が  
無かったのか

そんな中、両親は  
この村の存在を知り  
引越すことを決めた  
みたい

本当は誰にも悟られず  
ひっそりあの街を去る  
つもりだったけど

オサム君  
向こう  
お手紙  
どうしても貴方だけには  
お別れを言いたくて

唯一わだかまり無く  
お友達でいてくれた  
オサム君にはちゃんと  
挨拶したくて無理矢理  
寄って貰ったの

けれど、別離は  
それだけじゃ  
なかった

両親は村長との  
会話を終えると

私とわずかな荷物を  
残し、そのまま何処かへ  
消えてしまった

これが紛れもない  
私の事実

無事に村に着き  
ホッとしたのも  
束の間：

まさか  
あの引越しの  
裏にこんな  
事実があった  
なんて

そんな  
ことって：



私一人ならという条件だったみたい

だからって：身勝手だよ

当時村は人口が増え家族全員を抱える余裕がなかったって



どうして：家族3人で暮らさなかったんだらう？

それが村長との約束だったから

約束



けれど：ある時気づいたの

あの行動は私への親心だったんじゃないかって

親心？

私を守る為に私の幸せを考えて敢て取った親心

最善の親心だったんだって



どうしてそう思う…の？

ん？フフ：



ボクには理解出来ないよ

それはね：



最善の親心？

子供だけでも貧しい思いをさせまいとする親の愛

…



ママあー！

あらタミ起つき  
しちやったの

ママのところにおいで



私が親心を理解  
出来たのは

この子を産んで  
母親になったから

子供の幸せの為なら  
親はどんな犠牲をも  
払えちゃうって  
知ったから...

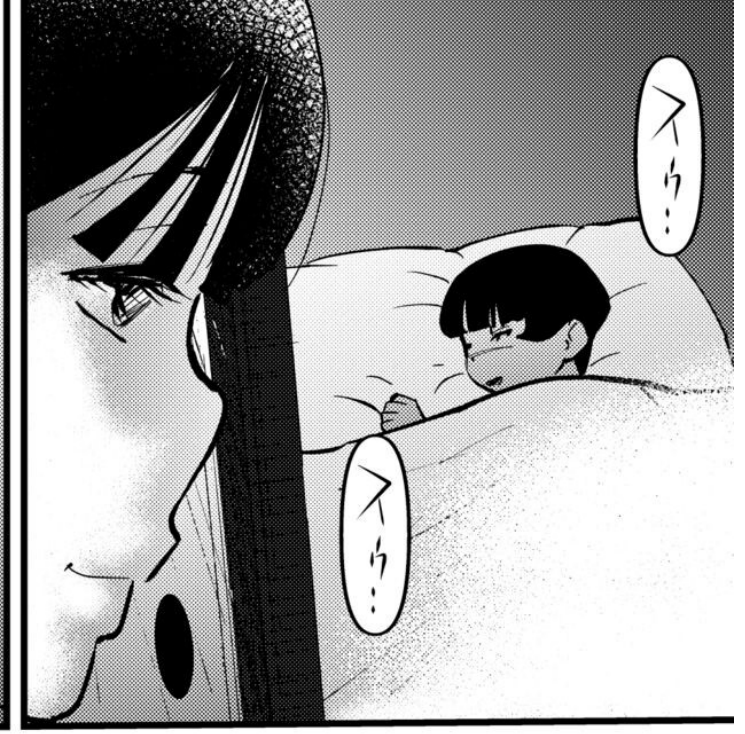


ハイハイ甘えん坊さん  
寝んねしましようね

タミはもう  
3つでしょ  
一人で寝る  
練習しないと



そっかそっか  
言っただけだったね  
私、十七であの子を  
産んだの



アウ...

アウ...



本来子供作るのには  
成人式を終えた女性と  
村で定められてるん  
だけれど  
ま、フライングは  
よくある話だから  
気にしないで

そんなことより

どうしてオサム君を  
この時期この村に  
呼んだのかを  
説明しないとね



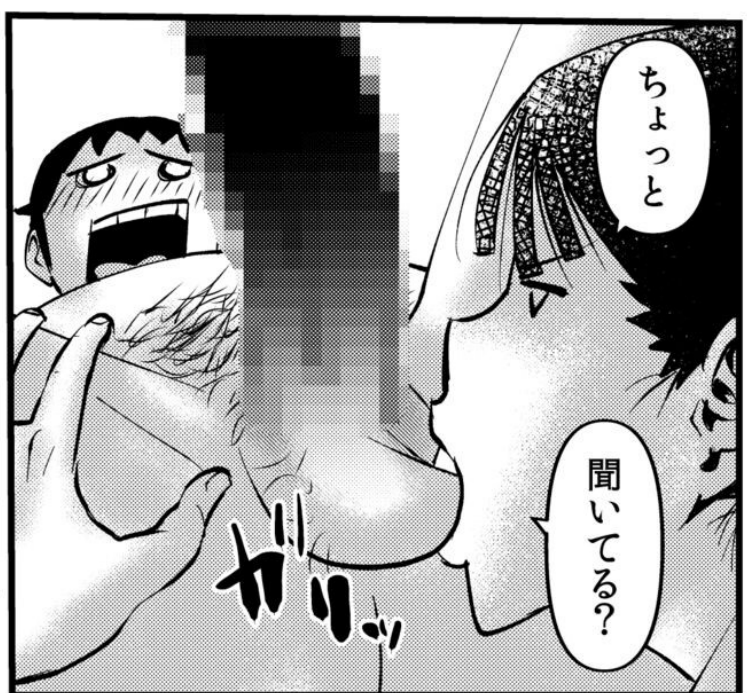
裳着の儀式と言って  
世間で言う成人式

この村の風習には  
成人した女が必ず  
通る儀式があるの



お陰様で  
今年二十歳

村の住人になって十三年  
すったもんだがあっただけ



装着の儀  
公家の女子が成長して  
初めて装を着ける式



腰巻みたいな物を  
纏う儀式がこの村でも  
あるんだね

それをベースにした  
村ならではの祭

そんな大事な祭事に  
僕みたいな部外者が  
参加してもいいの？

本当は村人だけで  
行っただけど  
村長に頼んで特別に  
許可して貰った

案の定、成長した  
オサム君  
安心したわ  
これなら十分に：

十分？

あとはもう少し  
この村に慣れが  
必要な

まあ今日来た  
ばっかだし：

ウフフ

祭事は3日後  
それまでには：

くちゅ





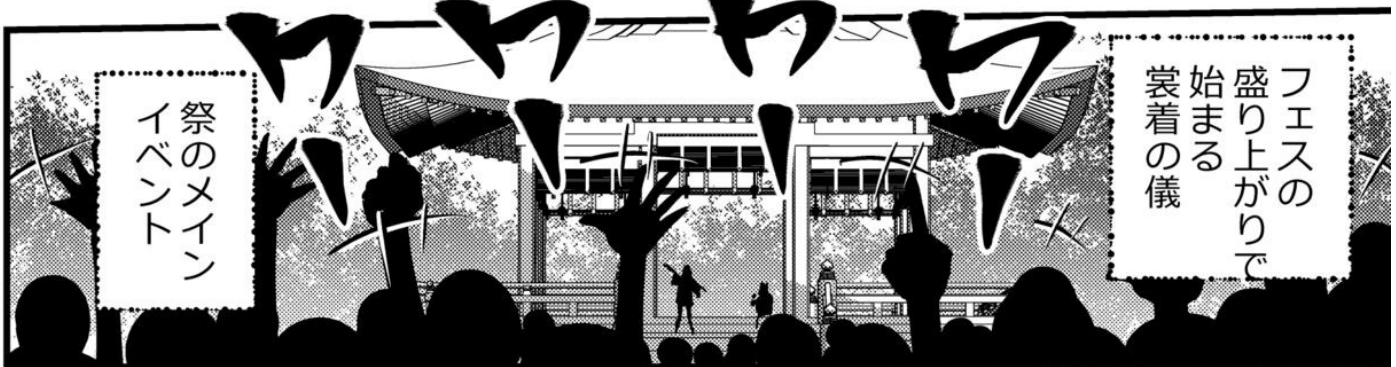


ハクイみんな  
ハタチになった  
アミでっす  
今日は裳着の儀に  
お越しくださって  
ありがとね  
楽しんでっす

神々しく厳かに…  
とは裏腹のフランクな  
村の祭り



レディーズ&  
ジェントルメン  
それではこれより  
裳着の儀を始めるゾイ  
今年の成人女性は



祭のメイン  
イベント

フェスの  
盛り上がりで  
始まる  
裳着の儀



こしゆい  
腰結とは成人する  
女子に裳を纏わせる  
お役

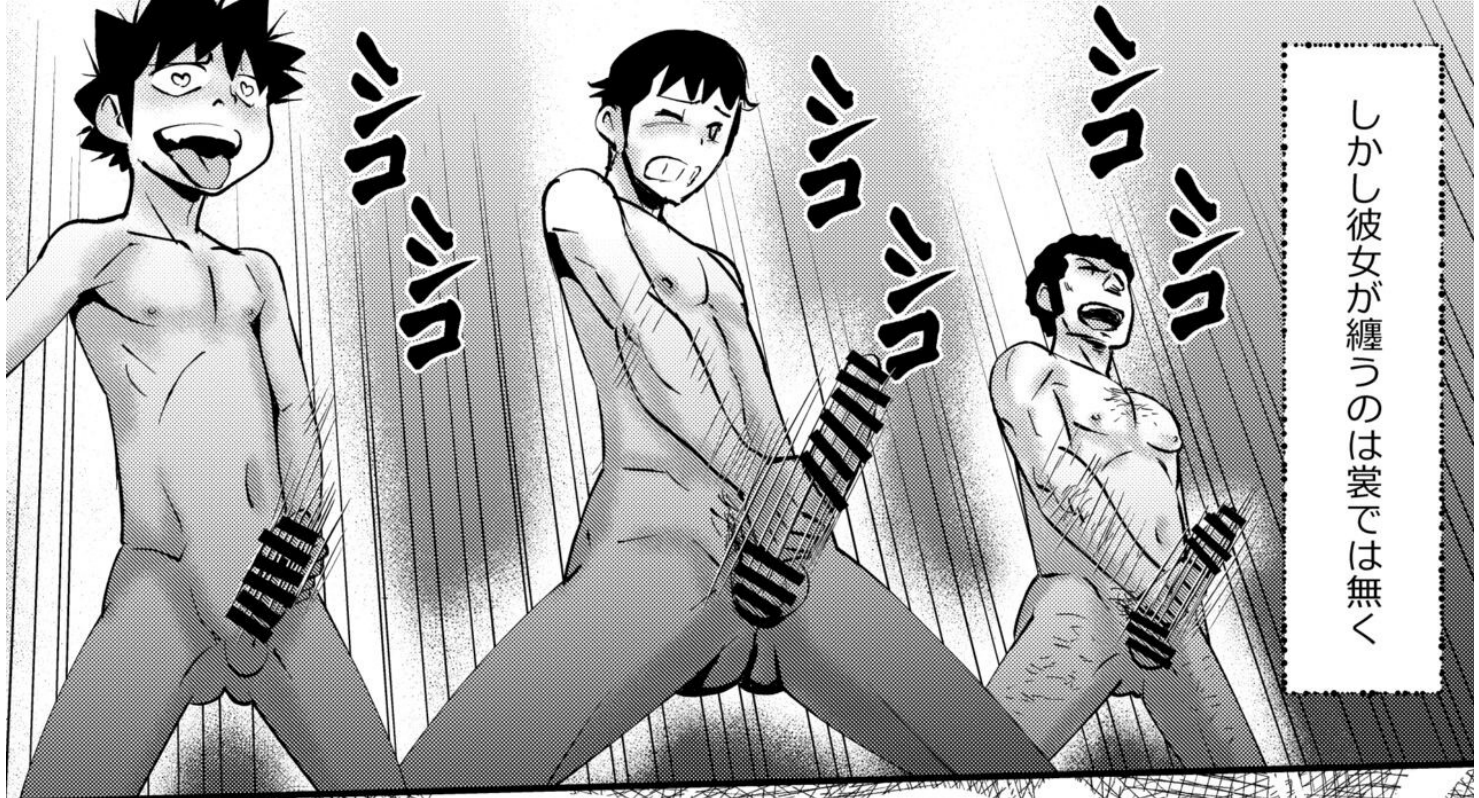
それでは  
腰結の男たち  
カモーン

僕達の出番だ



主役のアミちゃんの  
準備も万端

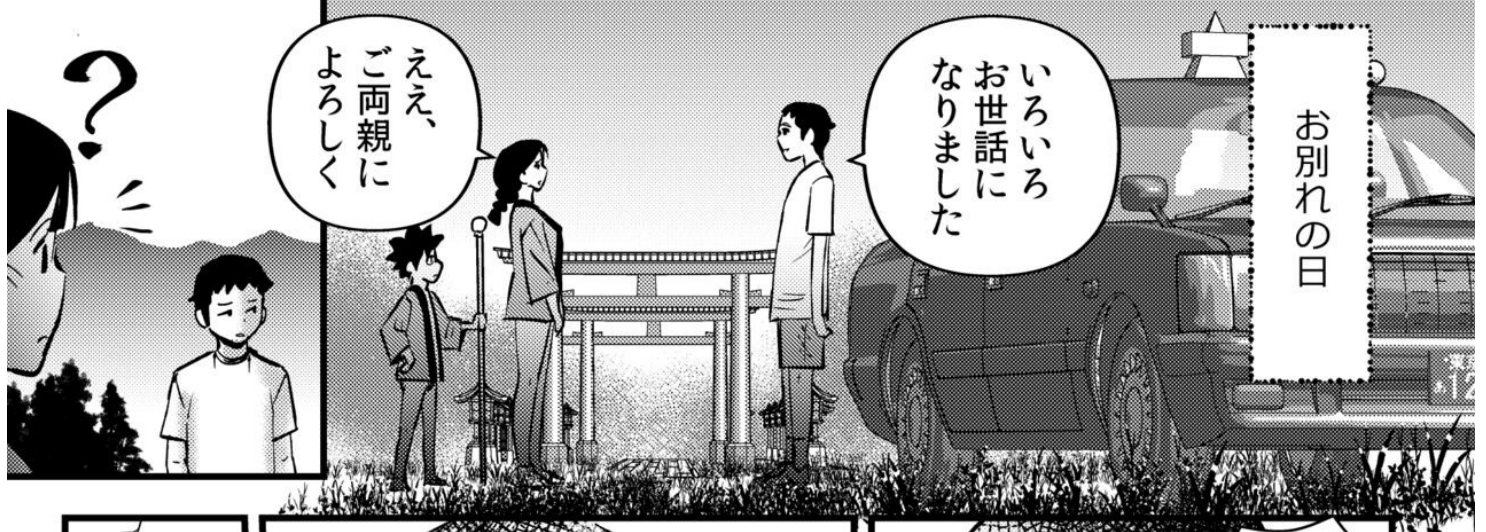
しかし彼女が纏うのは裳では無く



この後も  
村の男衆に  
腰結ブツカケ  
され続ける  
アミちゃん  
でした







お別れの日

いろいろ  
お世話に  
なりました

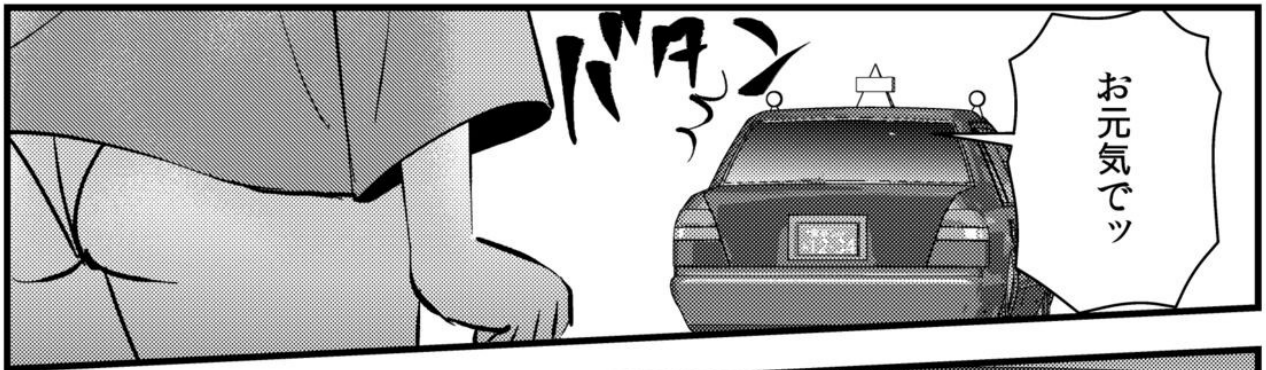
ええ、  
ご両親に  
よろしく



あの：  
アミちゃん

うん

あいや、  
その...



お元気でッ



お願いします

はい

お客様  
お忘れ物は  
ございませんか？

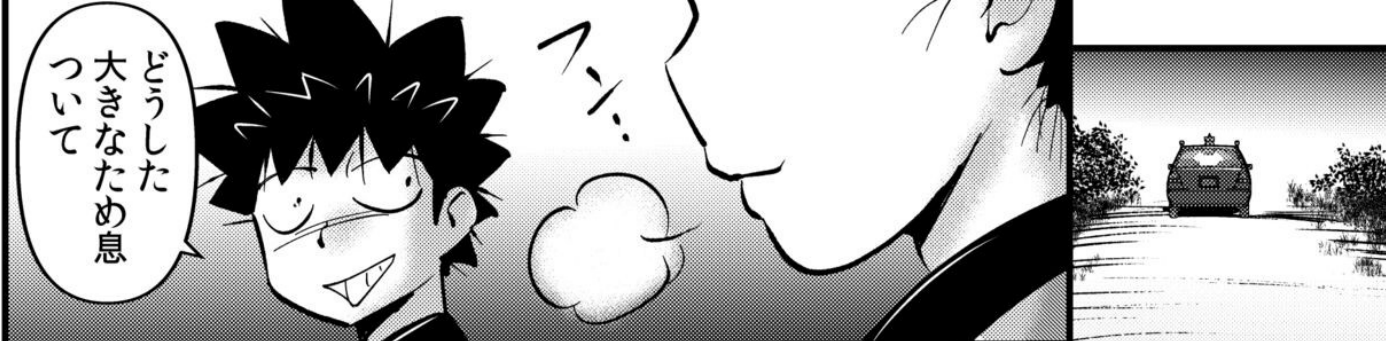


今ならまだ  
伝え忘れた事  
言えますよ

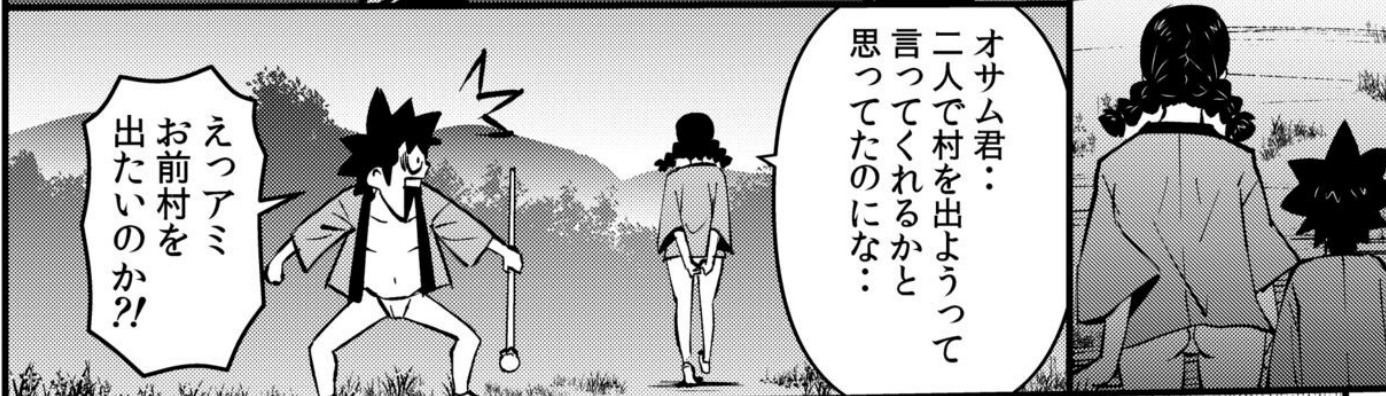
僕と一緒にいこう!!  
本当はそう言いたかった  
けれど

いいえ  
もう...

はいでは  
出発します



どうした  
大きなため息  
ついて



オサム君：  
二人で村を出ようって  
言ってくれるかと思  
ってたのにな：

えっアミ  
お前村を  
出たいのか?!



バカ！冗談よ

イツペイやタミの居る  
この村を出てくワケが  
ないでしょ

アミいゝ



装着も済ませたし  
これからもつともつと  
人を増やして村を  
盛り上げていかないと

おう!!

ゴロイオ

イツペイ：  
将来私との子  
何人欲しい？

あ、うーん  
野球したい  
から9:

あら大変：  
いいよ  
産んだげる